

令和3年度長岡京市防災会議・国民保護協議会 議事要旨

日時：令和4年3月28日（月）午後3時～午後5時

場所：市役所大会議室A

出席者

会長：中小路市長

防災会議委員

土家委員、末永委員、福田委員、瀬野委員、佐藤委員、井上氏（村田委員代理）、
滝川委員、西村委員、小倉委員、森本委員、中尾委員、高橋委員、杉田委員、
森本氏（西谷委員代理）、福田委員、青木氏（越田委員代理）、石橋委員、松井委員、
河北委員、木村委員、能勢委員、八木委員、清水委員、齋藤委員、石垣委員、星野委員、
西村委員、平木委員、三好委員

国民保護協議会委員

土家委員、末永委員、福田委員、瀬野委員、佐藤委員、井上氏（村田委員代理）、
滝川委員、西村委員、小倉委員、森本委員、中尾委員、高橋委員、杉田委員、
森本氏（西谷委員代理）、福田委員、青木氏（越田委員代理）、石橋委員、松井委員、
木崎委員、岩本委員、國武氏（菊池委員代理）、瀧川委員

会長あいさつ

本日は令和3年度の長岡京市防災会議、国民保護協議会の同時開催となります。

関係の皆さん方にはこうして御出席、また、オンラインで御参加いただきまして、誠に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症におきましては、第6波で本市におきましても非常に急激な感染拡大がありまして、1月末には1日あたり110人という、感染者の数字が出ておりましたが、ここにきて少しずつ減少という傾向で来ております。

ただ一方で、なかなか減り切らないのが今回の感染でありまして、今日も20名を超える方の感染が出ており、引き続き感染防止対策には御協力をいただきながら、進めていきたいと思っております。

そうした中で、世界を見渡しますと、ウクライナへのロシアの侵攻という大変痛ましい状況が起こっております。我々日本におきましても、なかなか体感で感じてもらうことは難しい部分もあるかもしれませんが、安全保障を取り巻く環境が、間違いなくより一層厳しい環境に置かれ始めているのではないかと思っております。

一方、先般、福島県沖を震源とします地震も発生し、南海トラフ地震の発生確率もより高まりつつあるという報告もなされているところであります。

雨の被害も、全国各地で浸水被害が起こっており、昨年夏には、長岡京市でも大雨が降っているというようなことであります。

そこに加えてコロナということであり、感染症、自然災害、そして安全保障と、非常に厳しい状況が我々の周りを取り巻いているわけでありますけれども、やはり安心安全、市民の生命と財産をしっかりと守っていく、これが何よりも、我々行政にとりまして非常に重要な責務だと考えております。

その意味では、今日、防災会議、また国民保護協議会を通じながら、闊達な御議論をいただき、来年度におきましても、皆様方の御協力を賜りますように、是非関係各機関皆様と力を合わせながら、取り組んで参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いをさせていただきます。冒頭のお礼の御挨拶とさせていただきますと思います。

本日は少し長丁場でありますけれども、どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局より本会議の公開について説明後に審議

会長

それでは本会議の公開または非公開につきまして委員の皆様にお諮りをいたします。本会議につきましても指針に基づき、会議及び議事録につきまして、公開ということでしょうか。意義もないということでございますので公開とさせていただきます。まず案件の1、長岡京市地域防災計画の改定につきまして事務局から説明をお願いします。

事務局より防災会議案件1「長岡京市地域防災計画の改定について」説明後に審議

会長

非常に多岐にわたる内容になります。ただいまの報告の内容につきまして、御意見、御質問がございましたらお受けします。

防災会議委員

全国的に見ても、避難所の定員、収容人数と避難対象者の数というのはかなり差があると思いますが、その点について、何らかの形で地域防災計画の中で述べられているのでしょうか。

事務局

避難所の考え方ですが、3.3平米で2人という計算をしておりますが、コロナ禍の体制としては2メートル四方に1人としています。

長岡京市は、瞬間的な最大避難者数は3万8000人となっておりますが、家屋の倒壊等により本当に避難が必要な方を避難所で対応させていただくこととなります。また、広域避難など、近隣との協力という考え方もございますので、引き続き検討して参りたいと考えております。

防災会議委員

定員をどうやって増やしていくか、今後の課題として考えていただければと思います。

会長

御指摘ありがとうございます。しっかり受けとめて参りたいと思います。
他にいかがでしょうか。

防災会議委員

改正の中に福祉避難所の見直しがあつて、あらかじめ受け入れ対象者を特定する、つまりあなたはどの福祉避難所に避難しなさいということを決めるのだと思いますが、もうこれはすでに運用されているのでしょうか。

事務局

災害対策基本法が改正されまして、概ね5年以内にこういった形で運用できるようにということになっております。今年度、庁内の福祉部門と調整させていただいております。今後、福祉事業者など福祉に関係する方々と調整をさせていただいた上で、個別避難計画という部分で対応させていただくということで考えております。

防災会議委員

通常の避難所でさえ定員が少ない、例えば、学校の体育館だと百五、六十名。
福祉避難所として施設とか色々なところがあがってますが、実際にそこへ本当に避難できると考えておられますか。
通所施設であれば通所される方が優先だとか、入所施設であればすでに入所されている方プラス避難者もということが、本当にできると考えてこの計画を出しておられますか。
長岡京市で、障害者手帳を持ってだけでも5000人程おられます。それにお年寄りの方を合わせたら何万人という数字だと思いますが、皆さん、あなたはここへ避難しなさいという方法を採用される予定ですか。

事務局

仰る通り、多くの方に配慮が必要と認識しております。
まずは土砂災害警戒区域や浸水想定区域で優先順をつけて、令和4年度にモデルケースといった形で、個別避難計画の作成に取り組んで参りたいと考えております。
もちろん、福祉避難所となり得る事業所等につきましては、お声掛けをさせていただき、協定を結ぶなど、定員の確保を検討していきますので、よろしくお願いたします。

防災会議委員

今のお話は、例えば土砂災害の発生が想定される地域を優先してやるということですか。

事務局

モデル地域として、令和4年度に土砂災害警戒区域と浸水想定区域の中から地域を選ばせていただいて、モデルケースとして個別避難計画の作成に取り組みをさせていただきたいと考えております。

防災会議委員

南海トラフ地震の想定でいうと、そのようなところだけではなく、市内全域が避難対象になるということが想定されるのであれば、今の話では全然追いつかない話ではないかと思えます。100%避難ができるとは思っておりませんが、要配慮者で避難しないといけない方の避難場所は少なくとも確保して欲しいです。それとはいえ、なかなか難しい話で、例えば、今度、向日が丘支援学校の建て替え等に伴って整備される場所へ、避難場所の協定を結んで整備してもらおうとか、もう少し大きなところでやらないと、この計画が絵に描いた餅になってしまって、何も結果的にできなかったとなるのではないかと思います。ただ、最近流行りの車中避難というものが出てきてますから、それも考慮に入れたらいいのかもしれませんが、やはり要配慮者の命を何とか助けるためにも、避難所の指定は早急に、これはどこであってもまず必要ではないかと思えますので、よろしく願いいたします。

会長

ありがとうございます。

少しコメントさせていただきますけれども、我々も今、福祉避難所の数が十分に満たされているという認識はしておりません。

今御指摘ありましたように、しっかり確保していかなければならないということは、受けとめて取り組んでいきたいと思っております。一方で、今回の法改正によりまして、どこに逃げるかというところまでを決めていくという作業をこれからやっていかなければならない。

まさにこれからの取り組みになりますけれど、正直、色々な現実的な難しさがあるということも認識しております。

今、我々、要配慮者名簿の活用をしておりますし、その中でやはり、一定程度の優先順位づけの考え方等も進めていく。

これも水害の際と地震の際とまた違う部分出てくるかもしれませんので、しっかり機能できるようなものを作るように、また引き続き努力をして参りたいと思っておりますので、今の御意見もしっかり受け止めさせていただきたいと思っております。

どうもありがとうございました。

他に無いようですので、案件1はつきましてはここで閉じさせていただきます。
つづきまして案件の2について事務局から報告をお願いします

事務局より防災会議案件2「令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画(案)について」 の報告後に審議

会長

それではただいまの事業報告、また、令和4年度の事業計画につきまして御質問、御意見ございましたら、お受けします。

防災会議委員

避難所開設キットの作成事業というのが、令和4年度中に行われるということで、場所として長岡第十小学校区の地域コミュニティと書かれておりますが、これはこれで非常にいいことだとは思いますが。私のお願いは、今度10月30日にする総合防災訓練が、長岡第六小学校区をメインでやられますので、できれば、このキット作成をその六小の方で事前に進めて、六小が10月30日にやるときに、それが機能するというを確認していただく方が、そのキットそのものの効果の確認というのができて非常にいいと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局

メイン会場の長岡第六小学校区でという御意見でございますが、この長岡第十小学校の方は昨年度から少しずつ動いていただいて、一緒に協議をさせていただいております。まずは第十小学校で進めさせていただいた上で、可能であれば10月30日までに作成をして、他の校区で使っていただくようなものがその時点で間に合っていれば一番良い、ということで取り組みをさせていただきたいと思っておりますので、御理解いただければと思っております。

防災会議委員

わかりました。私のところ、長岡第八小学校区ですが、避難所マニュアルをできるだけリアルなものを作ろうということで、頑張っております。ここで初めての避難所開設キットなるものが出てきて、非常にいいことだと思いますので、できるだけ早く作っていただいて、早く各校区の方に展開するようなことを、ぜひお願いしたいと思っております。

会長

御意見ありがとうございました。

各校区で取り組んでいただくのに非常に重要なものだと思いますので、しっかり情報伝達が各校区の方にできるよう、またしっかり取り組んで参りたいと思っております。よろしくお願

いいいたします。

他にいかがでしょうか。

防災会議委員

事業報告の方には出初式でありますとか、訓練でありますとか、書かれているのですが、事業計画の方には書かれてないというのは、何か、理由としてはあるのでしょうか。次年度までで結構ですので、突発的にしている訓練は別として、出初式とか、合同訓練とかは、大体のルーティーンとしてやっていますので、報告書に書かれるのであれば、また計画書の方にも同じように出されたらどうかと思います。

会長

では事務局、今の御意見反映を次年度にしっかり反映できるようにお願いします。

御意見ありがとうございました。

他にないようですので、案件を閉じさせていただきたいと思います。

それでは引き続きまして案件3につきまして事務局から報告をお願いします。

事務局より防災会議案件3「長岡京市備蓄計画の更新について」の報告後に審議

会長

ただいまの報告につきまして、御質問、御意見ございましたら頂戴します。

防災会議委員

トイレの数がこれで十分なのかなというのがすごく気になりまして、それと女性の方がトイレの時間もかかるということで、男性より女性が使える部分が多くなっているかという点が気になっています。

それともう一つは、生理用品。こちらの方に3枚と書いてありますが、こちら枚数というより、経血が多いとき少ないとか色々ケースもあり、そのあたりもしっかり考慮されているのかが気になりまして、お聞きしたいのですが。

事務局

トイレの確保という部分では、マンホールトイレの整備を進めているということと、避難所、小中学校のトイレの確保というかたちで取り組みしており、ポータブルのトイレの備蓄も進めております。

生理用品につきましては、避難される方について3枚という目安をとっておりますが、こちら国プッシュ支援等が見込まれるまでの最低3日必要ということで、一部を何とか備蓄をさせていただいて、その後につきましては、先ほど申し上げたように国からの支援であったり、協定に基づいた支援を考えております。

会長

トイレで、女性への配慮は何かありますか。

事務局

女性のトイレに関してですが、トイレの個数については数に限りがございます。

女性専用という表記的な部分の配慮はございませんが、避難所にマンホールトイレ等を設置させていただき、ここからここまでを女性専用にしようとかという部分を、避難所運営委員会など、避難者皆様の会議の中で御相談いただいて、安全に活用いただけるようお願いして参りたいということがございます。

防災会議委員

(オンライン環境の不調により)音声聞きとりにくかったですが、また後日、確認させていただきます。

会長

詳細、聞き取りにくければ、また事務局の方からしっかりお答えの方させていただきたいと思えます。御意見いただきましてありがとうございます。

それでは他にございますでしょうか。

防災会議委員

防災倉庫の中に発電機がありますが、これは燃料式でしょうか。発電機だけあっても動かさないので、どれぐらいの時間発電できるのか。例えばガソリンだったらどれぐらい備蓄されてるのかというのは気になります。

事務局

備蓄しております発電機につきましては、ガスボンベで対応するものとガソリンで対応するものがあります。ガスボンベにつきましては、各倉庫の方に一定数備蓄をさせていただいております。ガソリンにつきましては、今後の検討課題とさせていただきます。

ガスボンベ式のものにはボンベの容量にもよりますが、大体1日程度は発電できると考えております。

会長

ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

もし何かございましたら最後にお受けしたいと思います。

以上で案件3について終了させていただきます。

それでは、最後にこの間の本市におきます防災の取り組みということで、事務局の方、説明をお願いします。

事務局より防災会議案件4「防災に関する取り組みについて」の報告後に審議

会長

報告は以上であります。御質問、御意見ございますか。

(国民保護協議会委員)

職員チャットツールのところでありますが、昨年令和3年の8月の大雨の際も利用されたということで、自衛隊としましても、もし災害派遣要請がありました時には即応性と、地方自治体との密接な情報共有ということが非常に重要になってくると認識しております。その中で、この職員チャットツールは、非常に実用的なツールであると考えておりますが、災害対策情報共有グループということで、昨年の8月に活用した際の一例が載っていますが、自衛隊としても、もし災害派遣要請があった際に、こういったグループの中に入って情報共有ということが非常に重要になってくると思います。

それが可能なのであれば、事前にこういった要領であったり、我々側からすると誰が入り確認するのか、というところを事前に決めておきたいと考えております。

我々も災害派遣要請がかかっている際に、到着するのにやはり時間がかかる部分もございます。そこについては速報性が重要であると思いますので、経路の道路状況であったり、土砂の状況、どれぐらいの時間がかかるのかということも、市と情報共有によって、できるだけ早く速やかに現場に急行することができると考えております。

この一例の中に、パトロール終了でここは異常ありません、どここの伐採が終わってますという情報もありますので、そういった情報を我々としても見れば、より迅速に現場に急行できると考えております。

もし可能であれば、以後、また要領だつたりを具体化していきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

事務局

受援体制、連携というのは大変重要なポイントになっております。そういった趣旨から、今後、こういった形で仕組みづくりができるのか、また御相談をさせていただければと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

会長

御提案どうもありがとうございました。他にいかがでしょうか。

防災会議委員

8月14日に高齢者等避難を発令されましたが、いろんな被災地を調べてみますと、なかなか伝わっていないというのが現状です。発令されて、必要な方にどれぐらい伝達されたかというのは、検証はされてますでしょうか。

事務局

避難所開設となりますと、防災情報お知らせメール、また長岡京LINE公式アカウント等を通じまして、御登録いただいている方にお知らせするとともに、様々なチャンネルを通じまして、情報の発信をさせていただいているところです。

長岡京市LINE公式アカウントにつきましても、今4万人弱の御登録をいただいておりますので、そういった部分でもしっかりと情報が届くように、整備の方進めていきたいと。また、登録者数も増やしていくことで、より詳細な情報が長岡京市LINE公式アカウント、また防災情報お知らせメールの方で的確な情報が発信できるかと思っておりますので、登録数を増やし、しっかり避難につなげられる体制を構築して参りたいと考えております。

防災会議委員

情報発信にはお金もかかりますし、設備も必要ですが、どれだけ伝わってるかということをやはりチェックしておくことが重要ではないかと思うので、今後機会があれば、伝達率をチェックしていただければと思います。これはコメントです。

会長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

防災会議委員

お願いですが、本日京都新聞の社説で、「避難所生活のありかた ジェンダー視点検閲を」というのがございまして、これを見てみますと、地方防災会議の女性の割合が、目標の30パーセントに対して市町村平均で9%に留まっているということで、京都と滋賀の計45市町村で30%超えてるのは、精華町のみという話になっております。私がお願いしたいのは、今年度から時間をかけてでも、やはりそういった目線を変えるといいですか、どこの地域の自主防災会なんかでも、男性目線といいですか、そういった形で過去から検討してる部分が多いと思います。ですから、さきほど御質問があったような、女性の生理用品であるとかトイレのプライバシーを守るような対策とかが、トイレの数がいくらかとかそういったところに注力しがちで、視点を変えるような見方がなかなかできてないのが実態だと思いますので、市として、ガイドラインを出していただいて、こういったところが確保できるようなことを、今後進めていただきたいという、お願いです。

会長

ありがとうございます。

ただいまの御指摘は先般の議会でも出ておりました、こういう会議体、また各校区の避難所の運営委員会等、ぜひ女性の視点を入れていくということで、進めて参りたいと思いますので、御意見いただいてありがとうございました。

それでは最後に私から今2点、ぜひお伝えをしておきたいと思います。

先ほど委員から御提案いただいたように、去年の夏の大雨の際もそうですが、いかに情報を市民の皆さんに伝えるかということが、これまでから非常に大きな課題でありました。去年の夏の大雨の際に、一つこれはいい方法だと思った部分が、先ほど御紹介しましたFMおとくに通じた情報発信ということで、現在、市役所から直接ラジオに働きかけができますので、一番リアルタイムの状況というものを市民の皆さんに直接お伝えをすることができます。

市民の皆さん方に、災害時に何か情報ほしかったら86.2MHzに合わせるという習慣がまだまだ浸透していない部分があるかと思っておりますので、是非、色々な場面を通じて、ひとつの災害情報伝達手段として、このFM86.2MHzがあるということを、広げていきたいと思っておりますので、お知りおきをいただきたいと思っております。

もう1点が、先ほど触れましたLINEを通じた情報発信ということで、これまでも防災情報お知らせメールを登録いただき運用してきましたけれども、これが現在五、六千件の登録でとどまっております、なかなか広がらなかった。

今回、長岡京市LINE公式アカウントに登録いただいているアカウント数が、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種予約をLINEを通じてさせていただいたおかげで、今4万人近くまで増えています。

全員が市民というわけではないですが、やはりLINEでの情報発信は、非常にタイムリーに行えるということが、今回の災害時の対応を通じて感じているところであります。

FMおとくと長岡京市LINE公式アカウント、これを広げていくことが、先ほど委員からも御指摘いただいた、情報が本当に伝わったのかというところを上げていくためにも非常に重要だと思いますので、ぜひ、今日お集りの関係者の皆さん方からも、災害時にFMおとくとLINEの活用ということを、御協力をお願いできればと思っております。大変長時間になりましたけれども、防災会議におけます議題は以上となりますが、最後にどなたか御発言ありますか。

防災会議委員

水防団で活動しております。小畑川の水位を観測する場所が大原野にあり、大雨の時には京都市からその水位が上がっているということで、出動要請が入るわけでございます。昨年、大雨の時には京都市から入って、パトロール等実施してきたところでございますけど、長岡京市の方からの連絡はどのようになっているのかなど。市はどこで把握されてるのかと思ってたので聞かせていただきたい。

長岡京市からの連絡なしで、我々、京都市からの要請で出ているわけです。消防の方からも同じように入ってます。

長岡京市の方は、我々が出ているということを知ってもらえているのか、気になります。

事務局

小畑川の状況につきましては、府の防災システムを見ながら確認しています。

水防団の皆様との連携という部分では、消防も含めて今後考えて参ります。

防災会議委員

もう一点、我々は京都市からの要請で動いているようなもので、長岡京市から何の連絡もなく、待機、パトロールをしております。そのあたりも、また考えていただきたいと思えます。

会長

今後、改善図れるように考えていきたいと思えます。ありがとうございました

防災会議委員

質問ではないですが、FMおとくに関係の情報発信であったりLINEの広報の宣伝物等ありましたら、駅の方の掲示板でも御協力をさせていただいて掲出します。

会長

積極的な御提案いただきましてありがとうございます。

宣伝させていただきたいと思えます。

大変長時間にわたりまして闊達な御意見をいただきましてありがとうございました。

いただいた意見をしっかり踏まえながら、次年度も安心安全に向けまして、進めて参りたいと思えます。以上をもちまして、令和3年度の防災会議を終了させていただきたいと思えます。

事務局

つづきまして、国民保護協議会を開催させていただきます。

本日過半数の委員の御出席をいただいておりますので、長岡京市国民保護協議会条例第4条第2項の規定によりまして、本日の協議会が成立しておりますことを、御報告申し上げます。

会長

それでは案件1につきまして事務局説明をお願いします。

事務局より国民保護協議会案件1「国民保護計画の改定について」の説明後に審議

会長

ただいまの件につきまして御質問、御意見ございましたらお受けをしたいと思います。

特に無いようですので、採決をさせていただきます。

ただいまの改定につきまして賛成の委員の挙手をお願いします。

過半数を超えているとのことですので、案件1の長岡京市国民保護計画の改定については原案通り可決とさせていただきます。

それでは続きまして、案件2の方、報告をお願いします。

事務局より国民保護協議会案件2「長岡京市の特殊標章及び身分証明書に関する交付要綱の制定について」の報告後に審議

会長

ただいまの内容につきまして、御質問、御意見あれば頂戴したいと思います。

特に無いようでありますので、国民保護協議会の案件は以上となります。

これをもちまして、国民保護協議会を終了させていただきます。

御協力いただきまして誠にありがとうございました。